

あすのこよみ
2月8日(日)
晴
最高気温
10度
最低気温
3度
予報
晴
午後
曇り
C.A. (晴)

昭和34年(1959年)読売新聞でのインタビュー記事

緑

童話の中に青い鳥求めて

夢“おくる”創作20年

川崎の青少年補導連盟、長谷川指導員

来月29日、記念のつどい

いつも童話で親しんでいる先生に、川崎の町の子たちは、いつとはなく「かりんとう」というニックネームをつけた。色が黒くて、体が細いからだそう。この「かりんとう」先生、は市教委社会教育課内市青少年補導連盟指導員長谷川三郎さん(37)のこと。長谷川さんは「青い鳥」を追いつけ、20年間も「子供たちと童話を通じて夢を築く」運動を押し進めた。そこでこの偉業をさらに防ますため、川崎童人クラブでは、3月下旬に「長谷川三郎さんと童話のつどい」を川崎公民館で開くことになった。



長谷川三郎さん

○長谷川三郎さんは、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。

学園だより

県立平塚工業高等学校進級式
7日前9時開校
横浜市教育委員会定例会(10日午後1時・市教委)
理科の発表会 愛甲、厚木地区小学校教育研究会主催で、10日前10時から厚木市南毛利小学校で開校
国語科作文指導と算数科文章題指導の研究発表会 11日前9時・鎌倉大船小

○幼時は東京の三田四国町に住み、父は早くなくなり母親の手一つで育ったが、小学三年のとき少年団(いまのボーイスカウト)に入り、子供会の楽しい生活を送った。毎週土曜日には少年団のセツルメントのある三田学園で、童話の先生たちからいろいろな話や歌を聞かされた。今井西四郎に「ボクたちでも童話をやろう」と友だち同士で相談し、「一口話の寸劇、笑話をやったのがいままでつづいている。いま残っている三田博士の友人七人がその一つ。ラジオ作家の花房純彦さん(いまもそうだが、当時の童話の先生で東京目黒区の子供の家、で有名な日本子供会連盟理事長有樂善さんが会のカナメ。長谷川三郎の心のふるさとでもある。)

○そのころ童話に興味を抱いて「ボクたちでも童話をやろう」と友だち同士で相談し、「一口話の寸劇、笑話をやったのがいままでつづいている。いま残っている三田博士の友人七人がその一つ。ラジオ作家の花房純彦さん(いまもそうだが、当時の童話の先生で東京目黒区の子供の家、で有名な日本子供会連盟理事長有樂善さんが会のカナメ。長谷川三郎の心のふるさとでもある。)

○「先生はほそかな顔みが一ツある。山がありました。またその山に山がありました！」という話で子供がうたっている。二十年前とは生活のテンポも様式もまるで違っている。子供たちは、テレビ、映画、子供新聞などの生活しているから童話の基本的な古い伝統(あくまでも聞かせるもので、みせる

方式が打たれ出された後の第三十九回の山交(以来約二か月ぶり)で三月末日まで全期限としている。三月末日まで全期限としている。三月末日まで全期限としている。三月末日まで全期限としている。

○「かりんとう先生」は、市内子供会百七十に、楽しい夢を植えつけた長谷川三郎さんが、この三月十九日開かれる「長谷川三郎さんと童話のつどい」は、川崎市民会館で開かれる。そして、市内子供会百七十に、楽しい夢を植えつけた長谷川三郎さんが、この三月十九日開かれる「長谷川三郎さんと童話のつどい」は、川崎市民会館で開かれる。

○「かりんとう先生」は、市内子供会百七十に、楽しい夢を植えつけた長谷川三郎さんが、この三月十九日開かれる「長谷川三郎さんと童話のつどい」は、川崎市民会館で開かれる。

○「夢」は、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。

○「夢」は、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。

○「夢」は、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。

○「夢」は、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。

○「夢」は、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。

○「夢」は、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。

○「夢」は、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。

○「夢」は、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。

○「夢」は、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。

○「夢」は、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。

○「夢」は、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。

○「夢」は、川崎市大島町一の一三八の自宅に妻と次子さんと三つ子の小女子と暮らしている。ふみみ子さんは詩や小説をよくし、子供にも読まれて、長谷川三郎さんの童話のファンタジーはここから生れる。



吉永

目黒に立候補、落選した。以前に九州興業株式会社と西日本肥料工業の社長をしてきた。

神教組、高教組などの動評共闘会。なっている。神教組本部で開かれ、十日から再開されること。

方式が打たれ出された後の第三十九回の山交(以来約二か月ぶり)で三月末日まで全期限としている。

方式が打たれ出された後の第三十九回の山交(以来約二か月ぶり)で三月末日まで全期限としている。

方式が打たれ出された後の第三十九回の山交(以来約二か月ぶり)で三月末日まで全期限としている。